

原台の風

平成30年度 第1号 (通算280号)

一佐西学校だより

平成30年4月19日発行

〔発行責任者〕

長崎県立佐世保西高等学校長 宅島 健司

学生カバン

校長 宅島 健司

4月9日の入学式式辞の中で、次のようなエピソードを紹介しました。

「ある国立大学の個別学力試験（2次試験）の会場で、激励に駆け付けたある先生が、中身がぎっしり詰まった通学用の黒い学生カバンを持っている自校の生徒を見つけて、「そのカバンどうしたとや？」と尋ねたそうです。その生徒は、「先生たちが、集会の度に『そのカバンには君たちの夢や希望・志が詰まるとぞ』と話してたじゃないですか。だから私は受験にこのカバンを持ってきたんです。」と答えたそうです。先生の目を見つめて冷静に話すその生徒の言葉に、その先生は涙が止まらなかったそうです。」

その学校の先生方が、一番大事な授業の効果を上げるために生徒に教材を持ち帰らせ、予習・復習・課題等を徹底させ毎日の家庭学習の充実を図るため、あるいは、教科書・ノート・教材がぎっしり詰まったカバンを持ち毎日登校させることが、その生徒の進路実現を達成させることにつながると考え、集会の度に話をされたのだと思います。それがカバンに夢や希望・志が詰まっているという意味だと思います。先生方は、毎日生徒のために頑張り、その姿を生徒が見て、信頼関係を構築していたのだと思います。だからこそ、この言葉には説得力があったのだと思います。

片や生徒は先生方の想像を超えた姿を見せています。この年代は、外見を気にし受験に黒いカバンを持つてくるということは抵抗があると思いますが、見てくれよりも、「夢や希望が詰まっているカバン」を優先させ、絶対合格するぞという意志がはっきり伝わってきます。カバンの中には特別編成授業等で自分が解いた各受験科目のノートや模擬試験のやり直し等のノートがぎっしり詰まっていたことは想像に難くありません。やったことは嘘偽りない努力の証であり、自分に自信を持たせるものであり、受験科目における自分の学習成果だからです。もちろんこの生徒は九州大学に合格しました。このエピソードが美談として成立するためには、生徒のために懸命に努力している指導力のある先生方とその指導を素直に受け止め、真剣に目標達成のために努力している生徒である必要があります。

この話には後日談があります。

ある年の3月10日過ぎ、3月1日に卒業式を終えた卒業生たちが、受験結果の報告に職員室に来ていました。その中の一人が教頭席にやってきて、「教頭先生ありがとうございました。九州大学に合格しました」と報告してくれました。その生徒は野球部で、受験勉強の本格的なスタートは他の生徒に遅れ、教科の成績バランスも良くなく、最後まで粘って頑張っていた生徒でした。その生徒が「学習合宿の時に、教頭先生が受験に学生カバンを持って行った受験生の話がされました。本当にそうだなあと思ったので、自分も学生カバンを持って受験してきました」と話してくれました。その時、教頭だった私は涙が溢れるのをこらえ、「ありがとう」と言って、力強くその生徒と握手をしました。

《4月・5月の行事予定》

23	(月)	新体力テスト、身体測定
25	(水)	内科検診（3年5～7組）、胸部X線検査（1年）
26	(木)	内科検診（1年4～6組）
27	(金)	歓迎遠足
28	(土)	進研記述（3年）
2	(水)	中間考査A時間割発表
11	(金)	中間考査A（3年）
12	(土)	中間考査A（全学年）、育友会総会、学年育友会、学級懇談会

1学年より ～ 未来は僕等の手の中 ～

55回生の皆さん、ご入学おめでとうございます。「暖かな春風」と呼ぶには少し強すぎた4月9日の風でしたね。少し肌寒さを感じる中、皆さんが元気に入学式を迎え、校歌を一生懸命に歌っている（歌おうとしている）姿を見て、我々職員も高校3年間のスタートを改めて意識しました。これから始まる高校生活では、楽しいことも辛いこともたくさんあるでしょう。55回生の皆さんには、どんなことにも「積極敢為」で取り組んでもらいたいと思っています。よく言われることですが、「経験は人生の宝」です。そうだとすれば、「するのか？しないのか？」を目先の損得だけで決めてしまうのは、たいへんもったいないことです。えり好みをするのではなく、力の限り挑戦をして、ミスしたとしても「失敗こそ人生の糧（かて）だ」と言える強さを持ってもらいたいです。未来は決まったものではありません。全ては僕等のがんばり次第なのだとい度自分自身に言い聞かせ、高校生活を送ってほしいと思います。 【第1学年主任】

2学年より

「この一年・・・」

いよいよ54回生が佐世保西高校の中堅となる一年がやってきました。54回生の皆さんが今年一年にかける思いはいかがなものでしょうか。

高校2年生といえば中だるみの学年だとよく言われます。しかし、これからの一年間が皆さんの将来を左右する重要な一年間であることは間違いのない事実なのです。一年間、将来への明確な目標をもち続け、それに向けて懸命に努力を重ねた者だけが、来年、真の受験生になることができるのです。来年になってからでは完全に手遅れなのです。今年うちにバランスの良い基礎学力を身につけることこそが受験を突破するための必要条件なのです。

また、この一年は54回生全員が佐世保西高校の中堅学年としてすべての学校行事に積極的に参加して、その行事を成功へと導かなければなりません。たった一つのことにも消極的に取り組んでしまえば、一番大切なことに出会ったとき、全力を注ぐことができないかもしれません。何事に対しても常に全力で取り組む54回生であってほしいと思います。頑張れ、54回生！ 【第2学年主任】

3学年より 「真の受験生となれ！」

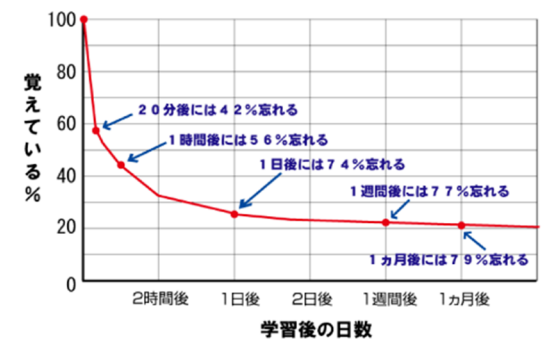
3年生0学期が終わり、いよいよ新学期が始まりました。春休みの間、教室とコモンホールを自学の場所として開放していましたが、毎日40名～60名の生徒たちが黙々と学習に取り組んでいました。もちろん、自宅でしっかり学習できた人もいます。こういう雰囲気がどんどん広がって、一日も早く53回生全員が真の受験生になってくれることを願っています。

さて、去る3月24日（土）に「合格体験談を聴く会」が開かれ、5名の卒業生が自分の経験を踏まえながら、後輩たちに向けて熱く語ってくれました。ノートの作り方や時間の使い方、付箋を使った復習方法など独自の工夫やこだわりがそれぞれにあったと思います。話の中に『エビングハウスの忘却曲線』が出てきたので、調べた人もいます。脳科学的なことまで考えて学習方法を工夫していたのかと思うと頭が下がる思いでした。

皆さんも、これから本格的に受験勉強に取り組むわけですが、目標をしっかりと見据えて前へ前へと突き進んでください。そして、必ず合格通知を手にしませう。

【第3学年主任】

エビングハウスの忘却曲線



エビングハウスの忘却曲線と復習の関係



離任された先生方より

<p>山本英生先生 佐西勤務は1回目15年、2回目11年、通算26年になりました。多くの生徒、先生方と出会えて本当に幸せな教員生活でした。皆さんに大変お世話になりました。ありがとうございました。</p>	<p>宮尾晴信先生 平成8年から西高の教壇に立ちました。私の教師生活の半分以上が、西高生と共にあったことになりました。ありがとう、佐世保西高校、そしてさようなら。</p>	<p>信國和彦先生 3年間1年生の現代社会と世界史を担当させていただきました。楽しく授業ができて幸せでした。皆さんも新しい知識を毎日獲得できることを大切に思っ、これからもがんばってください。</p>
<p>辻本正次先生 3年間、お世話になりました。教員生活最後に、すばらしい学校で過ごせて幸せでした。ニュースを見て視野を広げてください。幸せな人生を送るために、今、頑張ってください。</p>	<p>堤里香子先生 半年間だけでしたが、3年生の英語を担当させていただきました。西高の皆さんと出会えてとてもうれしかったです。西高は私の母校でもあります。OGとして皆さんをずっと応援しています。</p>	<p>富吉俊介先生 顔は見たことあると言って頂けると嬉しいです。勉強は大変でしょうが体に気をつけて頑張ってください。皆さんの活躍を応援しています。</p>

転任された先生方より

<p>猪股英介教頭先生 佐西は2回の勤務で、通算8年間お世話になりました。素晴らしい生徒、先生方に恵まれ、充実した生活を送ることができたことに感謝します。今後ますますの発展を祈念しています。</p>	<p>東嶋秀樹先生 2回目の勤務でしたが、やはり西高はすばらしい学校でした。バドミントン部ががんばれ。母の会の皆さん、お世話になりました。大好きな佐世保西高校、万歳。</p>	<p>山中千人志先生 大切な思い出をたくさんもらいました。悔しい思いもしましたが、それも宝物です。西高は素晴らしい学校です。心から思います。君たちの活躍を楽しみに待っています。</p>
<p>吉田美和子先生 6年間、お世話になりました。いつも、口うるさく小言ばかり言っていたのに、私のことを避けることなく笑顔で挨拶をし、話しかけてくれる皆さんが本当に大好きでした。西高生のいいところは、素直さ、真面目さ、優しさです。この3つは、人として財産だと思います。これからも、大切にしてください。そして、友人とともに頑張り、自分が納得行く進路をつかんでください。</p>	<p>神崎賢太先生 14年間という長い間、本当に色々な方々にお世話になりました。良いことも嫌なこともありましたが、この佐世保西高校での勤務が私を成長させてくれたと思っており、感謝の気持ちでいっぱいです。ご迷惑をかけた先生方、協力していただいた保護者の方、そして一生懸命に頑張ってくれた生徒たち。本当に、本当に、ありがとうございました。</p>	<p>草野僚太先生 初任校が佐世保西高でよかったです。3年間という短い間でしたが、本当にたくさんの方にお世話になりました。ありがとうございました。佐世保西生の益々の活躍を祈っています。</p>
<p>森優鶴先生 生徒の皆さんの笑顔や先生方・保護者の方のご支援のおかげで、辛くてもがんばることができました。ありがとうございました。佐世保西高の益々のご発展をお祈りしています。</p>	<p>中村律子先生 西高生で在る時間を大切に、沢山のことを学び、沢山の人と出会い、それぞれの夢に向かって力強く歩んでください。生徒の皆さんとはあまり面識が無かったかと思いますが、</p>	



新転任の先生方より

<p>舟越 裕教頭先生 県高校教育課から赴任しました。生徒の皆さん、先生方とともに「西高で学んで良かった」「西高で働いて良かった」と思える学校づくりに邁進していきたいと思います。どうぞ、よろしく願いいたします。</p>	<p>中倉 正先生 清峰高校から赴任してまいりました。教科は地歴公民（日本史）です。“学は人たる所以を学ぶなり”（吉田松陰の言葉）をモットーに、皆さんとともに、日々成長していきたいと思いますので、よろしく願いいたします。</p>	<p>戸塚邦彦先生 北松農業からまいりました。教科は国語です。久しぶりの普通校なので、早く慣れて皆さんと一緒に充実した佐西ライフを送りたいと思います。趣味はスポーツ観戦とテニスを遊び程度でやっています。よろしく願いします。</p>
<p>三好啓介先生 壱岐高校から赴任してまいりました。理科（生物）を担当します。皆さんの充実した学校生活と進路実現のために邁進していきますので、よろしく願いいたします。</p>	<p>澁谷理絵先生 壱岐商業高校からまいりました。教科は数学です。佐世保西高校に赴任し皆さんと出会えたことに感謝し、全力で頑張ります。佐世保西高校を更に魅力溢れる学校にしていきたいと思います。よろしく願いいたします。</p>	<p>西村松太郎先生 沖縄県立豊見城南高校から赴任してきました西村松太郎です。長崎県は初めて来たので、よくわかりません。おすすめの場所や食べ物があったら、教えてください。一生懸命がんばりますので、よろしく願いします。</p>
<p>佐々木香菜子先生 2-5の副担任、女子バドミントン部顧問です。1年生の地学基礎と2年生の物理を担当します。佐世保西高43回生です。お世話になった母校に恩返しをするつもりで頑張りたいと思っています。よろしく願いします。</p>	<p>松本優梨先生 北松西高校からきました、家庭科の松本優梨です。1-5の副担任とバレーボール女子を担当します。皆さんとたくさん関わり一緒に成長できればと思っています。よろしく願いします。</p>	<p>出口久美子先生 2-2の副担任です。教科は英語を担当します。佐西の皆さんと一緒に、様々な活動ができることを楽しみにしています。たくさんのお話ができればと思っています。気軽に声をかけてください。</p>
<p>堀部竜之介先生 昨年は創成館高校で1年生を担当していました。教科は国語を担当します。生徒の皆さんが充実した学校生活を送れるように、全力を尽くします。これからよろしく願いします。</p>	<p>中上照子先生 清峰高校から赴任しました。3年生の英語を担当します。英語の学習を通して、外の世界に興味・関心を持つようになって欲しいと思っています。脳の活性化のために、散歩と詰め将棋をしています。よろしく願いします。</p>	<p>濱田啓介先生 鹿町工業高校から赴任しました。1年前までこの学校で9年間過ごしました。この学校の温かい雰囲気は何も変わっていません。53回生の皆さんからよく声をかけてもらい嬉しいです。皆さんと一緒に勉強したいです。</p>
<p>小原千明先生 大崎高校から来ました。学校事務なので学校の設備等を良くして、皆さんの学校生活をよりよいものにしていきたいと思ます。よろしく願いします。</p>		<p>池田健二郎先生 三月まで、財務局佐世保出張所に勤務していました。教育関係の職務は初めてで、先生方の名前を覚えるのに時間がかかりそうです。陰ながら仕事のお手伝いができますよう頑張ります。よろしく願いします。</p>

